

2026
年度



電気通信大学が高校1年・2年生(中等教育学校4年・5年生)に提供する

「高大接続教育プログラム」

電気通信大学

UECスクール参加者募集!!

参加費
無料



●詳しくはWEBへ
<https://www.kodai.uec.ac.jp/>

電気通信大学では、情報・理工学の基礎から応用までの幅広い科学・技術分野での教育と研究を行い、世界に貢献する高度な専門性を備えた人材を養成しています。

■高大接続教室(高校と大学をシームレスにつなぐ)

■先取り学修(情報理工系・国立大学の単位を先取り)

『理科学実験』『プログラミング入門』 第1回から第3回まで連続して参加できる方を募集します。

	理科学実験	プログラミング入門※	
		A日程	B日程
第1回	7/26(日)	8/23(日)	12/20(日)
第2回	9/27(日)	9/27(日)	1/31(日)
第3回	12/13(日)	10/25(日)	2/28(日)
Webエントリー	4/24(金)～5/15(金)	6/26(金)～7/24(金)	10/30(金)～11/27(金)
応募書類の提出	5/7(木)～5/18(月)正午	7/14(火)～7/27(月)正午	11/17(火)～11/30(月)正午

※オープンキャンパス等にあわせて開催する発表会にも出席をお願いする予定です。

『高大連携基礎プログラミング』

本コースは、e-learningによる受講とスクーリングで実施されます。

e-learning	スクーリング	4回
全15回の内容を受講 [受講期間] 7月～12月(予定)	第1回 7/12(日) 第2回 7/26(日) 第3回 8/24(月) 第4回 11/15(日)	
Webエントリー	4/20(月)～5/12(火)	
応募書類の提出	4/27(月)～5/15(金)	



国立大学法人

電気通信大学

The University of Electro-Communications

電気通信大学では高等学校1・2年生(中等教育学校4・5年生)のみなさまに、ひと足先に大学の学びを体験するUECスクールを開講します。2026年度のUECスクールは高大接続教室の「理科学実験」と「プログラミング入門」、先取り学修の「高大連携基礎プログラミング」の3つのプログラムを用意しています。高大接続教室では実験・演習を通して報告書の作成やグループ活動を学びます。先取り学修では情報理工系の大学で学ぶ基礎的なプログラミングの授業をスクーリングとe-ラーニングで学びます。いずれのプログラムも本学の大学生・大学院生がみなさまの学びをサポートします。高校生のみなさまに本学での学びや研究に触れ、進路の選択に役立てて頂きたいと考えています。多くのみなさまのUECスクールへの参加をお待ちしております。

対 象 高等学校 1・2年生 会 場 電気通信大学

高大接続教室

(高校と大学をシームレスにつなぐ)

『理科学実験』
『プログラミング入門』



高大接続教室
webページ

申込方法等詳細は、Webページ
<<https://www.kodai.uec.ac.jp/sk/>>
にアクセスしてください。
<事前に連絡のためのメールアドレスを用意してください。>

高大接続教室 参加者の声

理科学実験

大学生になった自分を
イメージできた
(高校2年生 女子)



「UECスクール」の魅力は、実際に使われている装置を使って、大学生と同じ実験を体験できることです。実験を通して、高校の物理で習ったことを確かめたり、公式を実際に計算して求めたりすることができて、面白いと感じました。大学生になった自分をイメージすることができ、進路選択の参考になりました。

プログラミング入門

「いつかやろう」
そう考えていました
(高校2年生 男子)



オープンキャンパスでこの講座を知り、「いつかやろう」と考えていたプログラミングをやるチャンスと感じ申し込みました。この講座ではmicro:bitというマイコンを使用したプログラミングの体験ができました。プログラムを入力すると音が鳴ったりLEDライトが点灯したりと、試行錯誤の結果がリアルタイムで返ってくるので、難しいよりも楽しいと感じることが多かったです。今後の学習のモチベーションにも繋がりました。

先取り学修

(情報理工系・国立大学の単位を先取り)

『高大連携基礎プログラミング』



先取り学修
webページ

申込方法等詳細は、Webページ
<<https://www.kodai.uec.ac.jp/jb/>>
にアクセスしてください。

先取り学修 参加者の声

基礎プログラミング

将来を考える
きっかけになりました
(高校1年生 男子)



僕は、この先取り学修で大学の単位が取れるということに魅力を感じて参加しました。しかし、参加してみると、自分よりもPCを扱えて、プログラミングのできる人たちがたくさんいました。そして、自分の得意なことを研究・専門分野にできているTA(サポートしてくれた大学生)の方々を見て、自分も得意なことを将来の進路や仕事にしたいと思いました。この他にも僕はこのプログラムに参加して色々なことを学べたので、ぜひ皆さんにも参加してみてください。